様式第16号

営農型発電設備の下部の農地における営農計画書

及び当該農地における営農への影響の見込書

　　　　年　　月　　日作成

営農者（営農型発電設備の下部の農地において営農する者）

　住所

　氏名

　（連絡先　　　　　　　　　　　）

転用事業者（営農型発電設備を設置する者）

　住所

　氏名

　（連絡先　　　　　　　　　　　）

１　営農型発電設備を設置する農地等

(１)　所在及び地番

|  |  |
| --- | --- |
| 所在 | 地番 |
|  | 外　　筆 |

(２)　営農に係る農地等の面積

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 面積（㎡） |  |
| 田 | 畑 | その他 |
| ① 営農型発電設備の下部の農地 |  |  |  |  |
| ② ①の農地と一体的に営農を行う農地 |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |

２　営農計画

(１)　営農型発電設備の下部の農地における営農者の属性

|  |  |
| --- | --- |
| 営農者の属性 | 該当（○） |
| ①　効率的かつ安定的な農業経営（主たる従事者が他産業従事者と同等の年間労働時間で地域における他産業従事者とそん色ない水準の生涯所得を確保し得る経営） |  |
| ②　認定農業者（農業経営基盤強化促進法（昭和55年法律第65号）第12条第１項に規定する農業経営改善計画の認定を受けた者） |  |
| ③　認定新規就農者（農業経営基盤強化促進法第14条の４第１項に規定する青年等就農計画の認定を受けた者） |  |
| ④　将来法人化して認定農業者になることが見込まれる集落営農 |  |
| ⑤　①から④まで以外の者 |  |

(２)　営農型発電設備の下部の農地において作付けを行う農作物及びその作付面積

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 農作物の名称 | 作付面積（㎡） |
| １年目 |  |  |
|  |  |
| ２年目 |  |  |
|  |  |
| ３年目 |  |  |
|  |  |
| ４年目 |  |  |
|  |  |
| ５年目 |  |  |
|  |  |
| ６年目 |  |  |
|  |  |
| ７年目 |  |  |
|  |  |
| ８年目 |  |  |
|  |  |
| ９年目 |  |  |
|  |  |
| 10年目 |  |  |
|  |  |

(３)　農作物の栽培に係る農作業の期間及びその主な内容

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 農作物の名称 | １月 | ２月 | ３月 | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | 10月 | 11月 | 12月 |
| １年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ２年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ３年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ４年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ５年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ６年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ７年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ８年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ９年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 10年目 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

(４)　営農型発電設備の下部の農地において利用する農業用機械

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 農業用機械の名称 | 数量 | 自己所有・リースの別 | 寸法（cm）（全長×全幅×全高） | エンジン出力（馬力） | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

(５)　農作業に従事する者の農作業の経験

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 農作業に従事する者の氏名 | 農作業の経験年月数 | うち作付けを行う農作物に係る農作業の経験年月数（当該農作物の名称） |
|  | 年　　月 | 年　　　月（　　　　　　　　） |
|  | 年　　月 | 年　　　月（　　　　　　　　） |
|  | 年　　月 | 年　　　月（　　　　　　　　） |

３　営農への影響の見込み

(１)　農作物の生育に適した日照量の確保

|  |  |
| --- | --- |
| 農作物の名称 | 日照に関する特性その他農作物の生育に適した条件等及び営農型発電設備の設計上農作物の生育に支障を及ぼさない理由 |
|  |  |
|  |  |

(２)　農作業の効率的な実施

①　支柱

|  |  |
| --- | --- |
| 地上からの高さ（ｍ） | 設置する間隔（ｍ） |
| 最低： | 最高： | 最短： | 最長： |

②　農作業を効率的に行うために通常必要となる空間の確保

|  |
| --- |
|  |

③　営農型発電設備の下部の農地における営農

　ア　イ以外の場合

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 農作物の名称 | 営農型発電設備の下部の農地の単位面積当たりの収穫量の見込みＡ　（㎏/10a） | 同一地域内の農地の平均的な単位面積当たりの収穫量Ｂ　（㎏/10a） | 単位面積当たりの収穫量の増減見込みＡ／Ｂ×100（％） | 根拠とする統計調査等及び比較対象とする地域等の名称等 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

　イ　荒廃農地を再生利用する場合

|  |  |
| --- | --- |
| 農作物の名称 | 農地の利用の程度 |
|  |  |
|  |  |

④　農業又は太陽光発電設備等に関し必要な知見を有する者の意見書

　　（③のアにおいて根拠とする統計調査等のデータがない場合のみ）

|  |
| --- |
| 　　　　　　　　　　　　　　　　　農業又は太陽光発電設備等に関し必要な知見を有する者　　　　　　　　　　　　　　　　　　所属　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　役職・氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　㊞　　　　　　　　　　　　　　　　　　　連絡先　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |

（記載要領）

ア　１の(２)の①の「営農型発電設備の下部の農地」とは、営農型発電設備の水平投影面と一致する農地及び当該営農型発電設備によって生じる日陰（夏至の日の南中高度により生じるものをいう。以下同じ。）と一致する農地をいいます。

イ　１の(２)の①の「営農型発電設備の下部の農地」の「面積」の欄には、当該面積及びその地目ごとの内訳を記載してください。ただし、営農型発電設備によって生じる日陰と一致する農地の面積が明らかでない場合は、当該営農型発電設備の水平投影面と一致する農地の面積についてのみ記載するとともに、その旨を余白に記載してください。

ウ　１の(２)の②の「①の農地と一体的に営農を行う農地」とは、営農者が隣接する農地で同一の農作物を栽培する場合など営農型発電設備の下部の農地と併せて一体的に営農が行われる農地をいいます。

エ　２の(２)の「作付面積」の欄には、１の(２)の①の営農型発電設備の下部の農地の面積のうち、当該農作物の作付けを行う面積を記載してください。原則として、各年ごとの作付面積の合計は、１の(２)の①の営農型発電設備の下部の農地の面積と一致します。

オ　２の(３)の「農作物の栽培に係る農作業の期間及びその主な内容」の欄には、作付けを行う農作物ごとに、その栽培期間を矢印で示し、その期間中の主な農作業の内容を記載してください。

カ　２の(４)の「寸法」及び「エンジン出力」の欄は、当該利用する農業用機械のカタログ等の写しを添付する場合は、記載を省略することができます。この場合においては、「備考」欄にその旨を記載してください。

キ　３の(１)の「日照に関する特性その他農作物の生育に適した条件等及び営農型発電設備の設計上農作物の生育に支障を及ぼさない理由」の欄には、作付けを行う農作物の日照に関する特性（陽性、半陰性、陰性等をいう。）その他生育に適した条件等及び営農型発電設備の設計図の内容が当該農作物の生育に適した日照量を確保することができ、当該生育に支障を及ぼさないものであるとする理由を、それぞれ具体的に記載してください。

ク　３の(２)の②の「農作業を効率的に行うために通常必要となる空間の確保」の欄には、２の(４)の営農型発電設備の下部の農地において利用する農業用機械の寸法、３の(２)の①の支柱の地上からの高さ及び設置する間隔等を踏まえ、営農型発電設備の設計図の内容が農作業を効率的に行うために通常必要となる空間を確保することができるものであるとする理由を、具体的に記載してください。ただし、営農型発電設備の下部の農地に垂直に営農型発電設備を設置するものなど、営農型発電設備の構造上、支柱の高さが下部の農地の営農条件に影響しないことが明らかであり、営農型発電設備の設置間隔、規模及び立地条件等からみて、当該農地の良好な営農条件が維持される場合には、その旨を記載すれば、高さを記載する必要はありません。

ケ　３の(２)の③のアには、当該許可後最初に見込まれる当該農作物の収穫に係る単位面積当たりの収穫量の見込みを記載してください。ただし、果樹を新植して栽培する場合等当該一時転用の期間中に当該営農型発電設備の下部の農地における農作物の収穫が見込まれない場合にあっては、その旨を記載し、次に掲げる書面を添付してください。この場合においては、３の(２)の③のアの「単位面積当たりの収穫量の増減見込み」の欄に斜線を記載してください。

(ア)　当該営農型発電設備の下部の農地における農作物の整枝、剪定、施肥、摘果等の栽培管理方法を記載した書面

(イ)　当該農作物の適切な栽培管理方法及び年次ごとの生育状況が示されている栽培指針、栽培技術マニュアル等の写し

(ウ)　同一地域内又は自然条件の類似した他の地域内の農地（営農型発電設備の設置されていないものに限る。）において同時期に栽培を開始した同一の農作物がある場合にあっては、その農作物及び当該営農型発電設備の下部の農地における農作物のそれぞれの生育状況を確認することができる写真並びにこれらの撮影位置を示した図面

コ　ケの(ウ)の写真とは、申請書の提出の日前１か月以内に撮影されたものとし、当該営農型発電設備の下部の農地における農作物の生育状況を確認することができる写真にあっては、当該農地全体における農作物の生育状況を確認することができるよう、必要に応じて、複数の位置から撮影した写真を添付してください。

サ　３の(２)の③のアの「同一地域内の農地の平均的な単位面積当たりの収穫量」の欄には、原則として、市町が作成した統計等を用いて算定した数値を記載してください。この場合において、当該農作物が同一地域内の農地で栽培されていない等同一地域内の農地の平均的な単位面積当たりの収穫量が存在しないときは、当該収穫量に代えて、自然条件の類似した他の地域内の農地（営農型発電設備の設置されていないものに限る。以下同じ。）の平均的な単位面積当たりの収穫量を記載してください。

シ　３の(２)の③のアの「根拠とする統計調査等及び比較対象とする地域等の名称等」の欄には、次に掲げる事項を記載してください。

(ア)　３の(２)の③のアの「同一地域内の農地の平均的な単位面積当たりの収穫量」の欄に記載した収穫量の算定に用いた統計調査等の名称

(イ)　サの後段の規定により、同一地域内の農地の平均的な単位面積当たりの収穫量に代えて自然条件の類似した他の地域内の農地の平均的な単位面積当たりの収穫量を記載した場合にあっては、その比較対象とした地域等の名称

(ウ)　(ア)の統計調査等の名称が市町が作成した統計等でない場合にあっては、当該統計調査等を比較対象として適切であると判断した具体的な理由

ス　３の(２)の③のアの「根拠とする統計調査等及び比較対象とする地域等の名称等」の欄に記載した統計調査等のデータを示した書面を添付してください。ただし、当該データが存在しない場合は、当該データを示した書面に代えて、３の(２)の④の「農業又は太陽光発電設備等に関し必要な知見を有する者の意見書」の欄に、営農型発電設備の下部の農地における営農への影響の見込みについての意見を農業又は太陽光発電設備等に関し必要な知見を有する者に記載してもらってください。

セ　３の(２)の③のイの「農地の利用の程度」の欄には、荒廃農地を再生利用する場合において、周辺の地域における農地の利用の程度と比較した利用の程度を記載してください。

ソ　各欄に書ききれない場合は、余白に記載するか又は別紙に記載の上添付してください。

（留意事項）

３の(２)の②の農作業を効率的に行うために通常必要となる空間の確保について、許可の可否は、実際に使用する農業用機械ではなく、当該営農型発電設備の下部の農地において栽培する農作物を効率的に栽培するために通常必要となるトラクター等の農業用機械等を効率的に利用することができる空間が確保されているかどうかをもって判断することになります。